



碧南ロータリークラブ週報

第2849回例会 平成29年12月13日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



ロータリー:
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

海陽学園 ハウスマスター 佐藤修一様

●本日の卓上花

カーネーション (マスター)、アトランティア

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先週は花言葉を忘れたのですが、今週はカーネーションでございます。ということで、今日は母の日に渡してはいけないカーネーションというお題で話をさせていただきます。



木村徳雄会長

日本では5月の第2日曜日の母の日で祝う花で有名ですが、渡してはいけないカーネーションがございます。花には必ず花言葉が存在し、その花がどんな意味を持っているかが決められています。カーネーションの共通した花言葉は「女性の愛、純粋な愛情」でございます。しかし、それに加えて色によって色々な花言葉がございます。例えば、赤色は「母への愛、強烈な愛」、白色は「尊敬、亡き母へ」、ピンク色は「感謝、上品」、オレンジ色は「純粋な愛、あなたを愛する」、そして気を付けてほしいのは黄色で「軽蔑、嫉妬」でございます。ですので、黄色のカーネーションは渡さないようにしていただきたいと思っております。

以上で会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 12月6日に第6回の理事会を開催され、協議事項が全て承認されました。
- ・ 本日、職場例会の案内を配布させていただきました。是非、皆様方の出席をお願い致します。
- ・ 衣浦グランドホテル様よりお歳暮をいただきました。ありがとうございます。



角谷信二幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 8 名)出席者 52 名	
出席対象者 52/60 名	出席率 86.67%
欠席者 16 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 木村 徳雄君 いよいよ冬です。スキーシーズンです。週末17日に雪の上でスキーしてきます。70才までは現役でいたいです。
- 角谷 信二君 冬本番となりました。明日のRCゴルフ、極暖を着て頑張ります。
- 山中 寛三君 長い間休んでいて、これからも休みがちで申しわけありません。
- 長田 銑司君 私より先にいきなさんなよ。元気な百一才の母は、八十才の息子に今日も、にこにこしていました。いくつになっても母と息子。母は深い。
- 苅谷 賢治君 卓話講師、佐藤修様を御紹介させていただきます。
- 石川 綱逸君 本日、銑鉄鋳物製フライパン、その名も“おもいのフライパン”を発売させていただきました。鋳物の特性である、熱伝導の良さ、蓄熱温度の高さで、お肉がおいしく焼けると思います。是非機会がありましたら、ご購入のご検討、宜しくお願い致します。また本日、日本経済新聞、中部経済新聞に掲載させていただきました。碧南市のふるさと納税からも選べます。宜しくお願い致します。

「精強のバロメータ」

海陽学園 ハウスマスター 佐藤修一様



佐藤修一様

こんにちは。佐藤です。

碧南 RC が精強かどうか、皆さんの先程の歌を聴きまして、碧南というすごみ、皆さんの団結力というのを何となくわかったような気がします。また、私が来る前に杉浦さんから何回も調整がありました。その調整ぶり、そしてここへ来て、木村会長、鈴木次期会長と挨拶させていただきましたけども、トップの人たちというのがその組織のバロメータだと思います。皆さん、それぞれの企業や組織のトップだと思いますけども、その企業なり組織なり会社はトップを見ればおそらくそれがバロメータだと思います。

さて、本題に入らせていただきますけども、日本の自衛隊が強いかわるかの尺度は、おそらく世界の国が日本をどう思うかです。それで、先程ご紹介がありましたイギリスの陸軍参謀大学で、100 人ぐらいの上級将校を育てる中で、各国の軍隊がどのような状況かという説明がありました。日本をどういうふうにイギリスは見ているかという、1つは間違いなく歴史観です。日清、日露で勝ち、太平洋戦争、第2次世界大戦で原発が落とされるまで頑張った国だという歴史観。従って、今の私どもが自衛隊は国際貢献だ、PKO だということで色々な所に行きますけども、その行く前から我々の先祖の人たちの活躍により、物凄く評判が良いし、評価されているということは間違いなくと思います。その次は経済力です。現在、GNP が世界3位になったと思いますけども、1%を少し超したぐらいです。世界の普通は4%~7%です。高額な兵器をいっぱい持っているということで、どれほど経済大国であるかということが評価されています。次は技術力です。戦車や潜水艦を自国で生産できる国はなかなかありません。日本は相当高性能なものを生産しています。

精強の反対に非精強がありまして、先程も言いましたが皆さんはそれぞれの長でございませからトップの生き様だと思いますけども、そのトップの人が油断、マンネリ、傲慢、うぬぼれになってしまっておしまいです。私は普通科連隊長に40の後半でなりました。普通科連隊長は1100名が部下ですけども、一国一城の主です。陸上幕僚監部から行った時に陸上幕僚長から「バカ殿になるなよ」と言われましたけども、ある時の壮行会で正面のスクリーンに紹介された時に、椅子に一番深々と偉そうに座る私の姿を見て、私は傲慢なのだなどと深く反省した次第です。けども、この傲慢さ、うぬぼれを戦いに利用するのは。相手を油断させて勝つのです。

自衛隊が強いかわるかは一般的に3つの尺度で見えています。1つ目は団結があるかないか。2つ目は規律が正しいかどうか。3つ目は士気が高いかどうか。それを具体的に何で見るかというと、各指揮官で違いますが私個人だと、団結は駆け足だと思っています。自衛隊は体である一面ご奉公です。太ってはダメです。毎年、体力検定を受けなければいけません。従って、いかに体を鍛えているかということで、駆け足、声で見えていました。規律は厳正な敬礼と靴の光沢で見えていました。士気は間違いなく勝利です。勝たなければ士気は上がりま

せん。そういう尺度で我々指揮官は自分の部隊の精強さ、バロメータを見ているつもりです。

今日、皆さんの歌を聴いて、平和ということと奉仕をするのだというところに感銘を受けました。我々も海陽学園として、イートン校に少しでも近づこうということで、いざという時に国民の前に出るのだという魂を育てています。その意味で若い海陽の生徒たちがいつか国家のため、世のため、人のためになればというふうに思っております。

以上をもって終わりにさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成29年12月23日（土）17:00～

年忘れ家族会 会場：衣浦グランドホテル

平成29年12月27日（水）は23日の振替休会

平成30年1月3日（水）は定款第8条第1節Cによる休会

平成30年1月10日（水）

新年例会 謡曲「鶴亀 月宮殿」